



登録文化財保存活用シンポジウム（第3回）

**参加費
無料**

「歴史的建造物の魅力とその活用」

歴史ある建造物への関心が高まっています。第3回シンポジウムでは建築施工に関わっておられる実務家の方から話題提供いただき、文化財のルーツから歴史的建造物の魅力を再認識するとともに、いかにそれを未来に繋げていくかといったことについて考える場になればと思います。今回も会場開催とオンライン開催を併用し実施します。皆さまのご参加をお待ちします。

◆日時 2022年2月14日（月）14:00～16:30

◆会場 愛知県立大学サテライトキャンパス

名古屋市中村区名駅4丁目4-38 愛知県産業労働センター（ウィンクあいち15階）

◆参加費無料 募集定員20名（先着順）

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、会場でのマスク着用と手指消毒を徹底するとともに、定員を絞って開催します。このため、Zoomを使った配信も併せて行います。会場の定員に達して以降はオンラインでの参加をお願いします。

◆プログラム

開催時間	講師・内容
14:05～ 14:50	文化財のルーツを語る 講師：北川隆志氏（株）北川組 代表取締役社長兼会長 北川組150年の歴史の中で施工され、文化財に指定・登録された名古屋城、東山動植物園温室や鶴舞公園噴水塔・奏楽堂、名古屋市役所、旭サナック本館他。文化財のルーツとして施工当時の様子・エピソードなどを紹介。
14:50～ 15:35 (休憩)	地方の課題 空き家古民家を負動産から富動産へ 講師：戸田由信氏（一社）愛知県古民家再生協会 理事長／（株）戸田工務店 会長 地方にたくさんある空き家として放置された古民家を、ただハコとして再生するだけでなく、様々な方法で有効に利活用されるよう人と人、地域と企業などをマッチング。負動産を未来まで続く富動産にするプロセスを課題や留意点など実例を交えて紹介。
15:45～ 16:30	意見交換 愛知登文会小栗会長をコーディネーターとして、参加者の皆さんも交えて意見交換を行います。

参加方法

以下の申込フォームより、2月14日9時までにお申し込みください。オンライン参加の方にはメールで接続のご案内を送信します。

<https://qr.paps.jp/DNMZS> （右のQRコードからも申込が可能です）

メール、FAXでの申込も受付します。



参加申込書（メール：info@aichi-tobunkai.org FAX：052-242-3261）

お名前		TEL	
種別（○印を）	正会員 特別会員 賛助会員 その他	E-mail	
申込区分（○印を）	会場参加 定員に達した場合 オンライン参加希望	会場参加 定員に達した場合 オンラインでは参加しない	オンライン参加

愛知登文会事務局 名古屋テレビ塔株式会社内
 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目6番15号先
 TEL (052)-971-8546 FAX (052)-961-0561
 E-mail info@aichi-tobunkai.org
 ホームページ <http://www.aichi-tobunkai.org/>
 フェイスブック <https://www.facebook.com/aichi.tobunkai>

◇主催
 愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会
 ◇助成
 令和3年度文化庁文化芸術振興費補助金
 「地域文化財総合活用推進事業」

